






仕 様 書

業務名 奈良先端大産業廃棄物(実験系可燃物)収集運搬及び処分業務

令和8年1月

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学管理部施設課				
課 長	課長補佐	係 長	専門職員	担 当 者
				

1. 一般事項

- (1) 業 務 名 奈良先端大産業廃棄物(実験系可燃物)収集運搬及び処分業務
- (2) 収集場所 奈良県生駒市高山町8916番地の5
国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学構内(別紙1)
- (3) 業務期間 令和8年4月1日～令和9年3月31日
ただし、上記業務期間中に収集した産業廃棄物の「産業廃棄物管理票(マニフェスト)」について、上記業務期間を過ぎる場合は、提出をもって業務完了とする。
- (4) 業務概要 本学が排出する産業廃棄物のうち、実験研究活動に伴い排出する実験系可燃物(以下「廃棄物」という。)を廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下「法」という。)第14条第1項の許可(産業廃棄物収集運搬業許可)を受けた者(以下「収集運搬受注者」という。)及び法第14条第6項の許可(産業廃棄物処分業許可)を受けた者(以下「処分受注者」という。)によって、適法かつ適正に処理を行う。

2. 業務仕様

(1) 基本的事項

1) 収集運搬業務

- a) 収集運搬受注者は、廃棄物を別紙1に示した産業廃棄物収集倉庫から収集運搬用貨物自動車(塵芥車等)への廃棄物の小運搬を行い、法及び関係法令に従って、適正に収集運搬を行う。
- b) 収集運搬受注者は、別紙1に示した産業廃棄物コンテナ設置場に産業廃棄物収集用のコンテナ容器を常に備えなければならない。なお、臨時にコンテナ容器を設置する場合は、奈良先端科学技術大学院大学(以下「発注者」という。)の指示に従い、設置する。
- c) 収集運搬受注者は、設置する全てのコンテナ容器を、強風、豪雨、流水、虫、鳥獣等の影響を受けず、同時に廃棄物の投入が容易に行える蓋付きの構造とし、8m³コンテナとする(別紙2)。
- d) 収集運搬受注者は、設置する全てのコンテナ容器の蓋を、発注者が用意する南京錠(暗証番号錠含む)及び鎖で施解錠できる構造とする(別紙2)。
- e) 収集運搬受注者は、事前に発注者からの回収依頼を元に必要事項を記載した「産業廃棄物管理票(マニフェスト)」を回収日に持参する。なお、発注者は記載内容を確認の上、署名を行う。
- f) 収集運搬受注者は、署名された産業廃棄物管理票(A票)を、収集運搬を行う前に発注者の管理部施設課に提出する。
- g) 収集運搬受注者は、上記a)の廃棄物及びb)のコンテナ容器について、許可を得た収集運搬用貨物自動車を使用して処分地まで運搬の上、処分受注者に引き渡す。
- h) 収集運搬受注者は、発注者から連絡があった場合に、速やかに廃棄物の収集運搬を行う。

- i) 収集運搬受注者は、廃棄物の収集運搬に当たるときは、発注者の指示に従って行う。
- j) 収集業務は、原則として本学の勤務時間内（平日 8 : 30 ~ 17 : 15）に行う。
- k) その他、法及び関係法令に従って適正に処分する。

2) 処分業務

- a) 処分受注者は、収集運搬受注者から引き渡された廃棄物に関して、環境負荷低減を考慮し、なるべく再資源化されるような処分方法とする。
- b) その他、法及び関係法令に従って適正に処分すること。

(2) 廃棄物の年間予定排出量、種類、処分方法、処分主品目及び予定収集回数

- 1) 予定排出量 : 510 m³
- 2) 種類 : 廃プラスチック類・紙くず・ガラスくず・ゴムくず等
- 3) 処分方法 : 焼却
- 4) 処分主品目及び予定収集回数 :
 - a) コンテナ(バイオサイエンス棟用) : 年 49 回
 - ・実験系可燃物 : 硝子・陶器類、プラスチック・ゴム、植物体、X線フィルム等
 - b) コンテナ(物質創成科学棟・学際融合領域研究棟 1 号館用) : 年 13 回
 - ・実験系可燃物 : 硝子・陶器類、プラスチック類、繊維類、紙くず、発泡スチロール、アルミホイル等
 - c) 収集倉庫(バイオ実験廃棄物集積場 1) : 年 9 回
 - ・実験系可燃物 : 紙くず、発泡スチロール、アルミホイル

(3) 業務の履行

収集運搬受注者及び処分受注者（以下「受注者」という。）は、廃棄物受領後速やかに収集運搬又は処分を行い、業務完了の都度その事実を「産業廃棄物管理票（マニフェスト）」により証明し、発注者宛に送付する。また、産業廃棄物管理票（B 票）以降には計量結果を記載する。

(4) 請負代金の支払い

産業廃棄物管理票（A 票）と処分受注者から処分後返送される産業廃棄物管理票（D 票若しくは E 票）の照合確認後、各月の業務履行分毎に発注者の管理部会計課から支払う。なお、支払額は契約項目毎の契約単価と実際排出量の積和とする。

(5) その他

- 1) 受注者は、産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証、産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物処分業許可証の許可内容に変更が生じたときは直ちに発注者に届け出る。

- 2) 受注者は、発注者からの求めに応じ、運搬先及び処分先での状況が確認できる写真を撮影し、発注者に提出する。
- 3) 受注者は、発注者からの求めに応じ、収集運搬及び処分方法が法及び関係法令に従っていることを説明し、それを証明する書類を発注者に提出する。
- 4) その他、業務遂行にあたって、本仕様書に記載のない事項及び不明な点は、その都度、発注者と協議して実施する。

3. その他

- (1) 受注者は、本業務の実施中に知り得た情報について、発注者の許可なく、第三者に漏らし又は他の目的に使用してはならない。このことは、本業務期間終了後も同様とする。
- (2) 産業廃棄物管理票及び請求書は業務完了後に発注者の管理部施設課施設管理係に送付する。
- (3) この契約についての必要な細目は、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学工事請負等契約細則（別記第7号）役務請負契約基準を適用する。



●印は収集倉庫(1箇所)

1) バイオ実験廃棄物集積場 1

★印はコンテナ設置場所(2箇所)

1) バイオサイエンス棟用

2) 物質創成科学棟・学際融合領域研究棟 1号館用

■印はサービス駐車場

■印は管理部施設課(事務局別館 1階)

※コンテナは全て収集運搬受注者が設置する

蓋付きコンテナ及び設置参考資料

全てのコンテナの蓋は発注者が用意する南京錠で管理できる構造のものとする。

※独自の鍵付きの蓋等のコンテナは設置しない。

強風等により容易に動かないように車輪止め設置等の適切な対策を講じるものとする。



蓋付きコンテナ 2箇所設置(バイオサイエンス棟、物質創成科学棟・学際融合領域研究棟1号館)
受注者が用意し設置を行う。

収集運搬を行う際に、入替用の蓋付きコンテナを設置し、常に蓋付きコンテナがある状態とすること。